

MEX TIMES

2020.3.1

第8号

発行 松本市海外都市交流委員会
事務局 松本市丸の内3番7号 松本市広報国際交流課
TEL: (0263)34-3220 FAX: (0263)34-3201



30周年 カトマンズ市を公式親善訪問



11月11日(月)から5日間の日程で、坪田副市長を団長に、村上市議会議長や公募の市民の皆さんと総勢19名でネパール・カトマンズ市を訪問しました。2019年は、松本市とカトマンズ市が1989年に姉妹都市提携を結び30周年の節目を迎え、両市がこの節目を盛大に祝いました。

◆到着

日本からカトマンズへは、バンコク経由でのフライトでした。バンコクで参加者の団結を深め、翌12日の朝、カトマンズへと出発しました。

晴天のトリブバン国際空港に到着した一行は、カトマンズ市の国際部長らの盛大な歓迎を受けました(冒頭写真、左から9人目)。



◆歓迎記念式典

市内レストランで行われた歓迎式典で、訪問団一行は、カトマンズ市のビドゥヤ・スンダー・シャクヤ市長を始め、市内各地区長やカトマンズ市職員等交流関係者から盛大な歓迎を受けました。

30周年歓迎記念式典でシャクヤ市長は、これまでの交流を振り返り、友好関係を支えてきた市民の熱意に感謝の意を示すとともに、今後の両市友好関係

の一層の発展に期待を寄せました。

その後、歓迎夕食会では、両市出席者がネパールの民族音楽に合わせて輪になって踊り、親交を深めました。



△(左)ビドゥヤ・スンダー・シャクヤ市長

◆学校訪問

到着翌日には、市立信明中学校と交流のあるバンヌバクタ記念学校を訪問し、生徒約1,000名による盛大な歓迎を受けました。

校庭で行われた歓迎式典では、日本とネパール両国の国家斉唱に続き、生徒代表が日本語で「四季の歌」を披露、訪問団は「信濃の国」の合唱で応じました。

また、信明中学校生徒会が製作したビデオレターを披露すると、生徒たちから歓声があがり、日本の学校の様子に興味津々な様子でした。

(裏面に続く→)



◆柔剣道大会

ネパールでは、平成 27 年 4 月に大地震が発生し、多くの尊い命が失われ、市内に残る歴史的な建築物等に大きな被害がありました。松本市が平成 14 年に市民の募金をもとに建設した武道館にも被害がありましたが、震災後に松本市と松本市海外都市交流委員会が連携して取り組んだ救援募金により、平成 30 年 10 月に修復が終わりました。

今回の訪問中にこの武道館で、姉妹都市提携 30 周年を記念した柔剣道大会を、在ネパール日本大使館、カトマンズ市と連携して開催しました。大会では、日々鍛錬を積む現地の青少年による白熱した決勝戦を観戦しました。



試合後には、今回の訪問に同行していただいた松筑剣道連盟副会長ご夫妻による演武を披露しました。演武が始まると選手たちは迫力に圧倒されていました。



また、松筑剣道連盟からの竹刀 60 本のほか、松本市海外都市交流委員会が昨年 10 月楽市楽座に出展した「姉妹都市紹介ブース」の売り上げで購入した柔道着や、カトマンズ姉妹の会からご提供いただいた柔道着を贈呈しました。武道館の所在する第 16 地区のムクンダ・リジヤル地区長は、「両市の友好関係が 30 年もの長きにわたり続いていることを嬉しく、誇りに思う。今回皆さんの善意でご提供いただいた物資を大切にし、子どもたちが柔剣道に取り組みやすい環境の整備を一層進めたい。」と述べました。



+ グリンデルワルト村の中学生が松本市でホームステイ



グリンデルワルト村の中学生ら 30 名が、5 月 8 日から 5 日間の日程で松本市を訪れ、ホームステイをしたほか、市内中学校で日本文化の体験をするなどし、交流を深めました。



◆市長表敬・清水中学校訪問

到着翌日、一行は市長を表敬訪問した後、清水中学校を訪れました。生徒の皆さんから盛大な歓迎を受けた一行は、グリンデルワルト村の紹介を行った後、クラスに分かれて七夕人形作りを体験しました。その後、教室で給食を食べましたが、これまでに食べたことが無い食材に、興味深そうにしていました。



◆安曇・大野川中学校訪問

3日目は、姉妹都市交流の原点である安曇地区を訪問し、安曇中学校と大野川中学校で交流を深めました。安曇中学校では、生徒たちと和太鼓の演奏や書道など日本文化を体験し、給食を食べました。その後訪れた大野川中学校では、折り紙や竹馬など日本の昔ながらの遊びを楽しみ、小学校の児童も一緒に交流を深めました。学校を訪問した後は、「どじょう池」へ立ち寄り、水芭蕉や乗鞍岳の風景を楽しみました。



◆乗鞍での交流会

夕刻は、「ふれあいパーク乗鞍」で地元の子もたちや、ホストファミリー、交流関係者との交流会を行いました。訪問団は乗鞍アルプホルンクラブの演奏や子どもたちの和太鼓による盛大な歓迎を受け、これに歌とスイスから持参したアコーディオンによる演奏で応えました。

地元の方々の心のこもった手作り料理で会話も弾み、心温まる時間を過ごしました。



◆上高地散策

4日目は、ホストファミリーと共に快晴の上高地を散策し、スイスの山との違いを楽しみました。翌朝早く一行は、ホストファミリーとの別れを惜しみながら、箱根へ向けて出発しました。中学生一行が、次に松本を訪れるのは2022年の予定です。



日中青少年交流推進年
友好都市中学生卓球交歓大会

7月28日～31日に友好都市の中国河北省廊坊市で「廊坊市松本市友好都市中学生卓球交歓大会」が開催されました。日中両政府は2019年を青少年の交流を推進する「日中青少年交流推進年」と位置付けていて、今回の卓球大会は外務省の認定事業でもありました。市内の大会で好成績を収めた中学生4名の選手を含む一行8名が卓球を通じて、友好を温めました。詳細は、「MEX TIMES 特別号」をご覧ください。



姉妹都市提携30周年記念 ネパール講演会を開催

11月26日、松本市海外都市交流委員会とソルトレークシティ姉妹提携委員会（松本商工会議所）が合同で、元駐ネパール日本大使の小嶋光昭氏を講師に、姉妹都市提携30周年記念講演「新生ネパール誕生と日・ネ交流の今後～松本カトマンズ両市の30年の連携を越えて～」をブエナビスタで開催しました。小嶋元大使からは、駐ネパール大使当時の体験や、ネパールの新しい国づくりや、両市今後の交流発展について示唆に富んだお話をいただきました。



台湾高雄市義守大学長が来松



6月5日、松本大学と「学術・人物交流に関する協定書」及び「学生交流に関する覚書」を締結している、高雄市の私立義守大学の陳振遠（ちんしんえん）学長が、大学間連携事業の一環として、松本大学で記念講義を行うために来松し、菅谷市長を表敬しました。

姉妹都市提携30周年記念 ヒマラヤ山岳写真展を開催

本会会員のNPO法人松本ヒマラヤ友好会が、2019年10月と2020年2月の2回、山岳写真展を開催しました。写真展は、松本市とカトマンズ市の姉妹都市提携30周年を記念して行われ、多くの応募作品中から、松本市長賞等が選ばれました。同会は、松本市とカトマンズ市が姉妹都市提携を結んで以来、民間訪問団の派遣や写真展の開催等に積極的に取り組んでいます。

第30回信濃の国 楽市楽座に出展

本会では姉妹・友好都市を市民の皆様幅広く知っていただくために、毎年楽市楽座へPRブースを出展しています。本年度は、姉妹都市提携30周年を迎えたカトマンズ市に焦点を当て、まちや交流の様子を写真で紹介する同時に、ネパールのカレーや手工芸品のチャリティー販売を行いました。（チャリティー売り上げによる柔道着等の寄贈については、冒頭カトマンズ市への公式訪問の記事をご覧ください。）



チェコの音楽一家コレルトファミリー コンサートの開催

6月29日、チェコ共和国リトミシュル市と交流を進めている本会会員のスメタナ・リトミシュル会の招きで、チェコの音楽一家、コレルトファミリーが来松し、ハーモニーホールを会場にコンサートが開催されました。同ファミリーは、祖国でもその演奏が高く評価されており、聴衆は美しい音色に耳を傾けていました。

会員募集中！

松本市海外都市交流委員会では新たに入会を希望される方を募集しています。既に国際交流をされている個人・団体はもちろん、国際交流に関心をお持ちの方はどなたでも歓迎します。年会費は、個人2千円、団体1万円。入会の申し込みは事務局（松本市広報国際交流課 ☎ 34-3220）までお願いします。

会費納入のお願い

本会では会員の皆さんの会費で運営されています。会費のお支払いがお済みでない方は、お早めにお願いたします。なお、お振込みの場合は、振込人名をご記入いただきますようお願いいたします。

八十二銀行 松本市役所出張所
(普通) 103120
松本市海外都市交流委員会

令和2年（2020年）は、松本市と中国河北省廊坊市が友好都市提携を結び25周年を迎えます。松本市と連携し、記念事業を実施してまいります。会員の皆様のご協力をお願いします。

会員募集！
「松本留学生
応援ファミリーの会」
お問い合わせは、事務局（松本市広報国際交流課 ☎ 34-3220）まで。

